

# 令和2年度 神奈川県高等学校柔道新人大会 要項

朱書き＝変更事項

1. 主催：神奈川県高等学校体育連盟
2. 主管：神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部
3. 後援：神奈川県教育委員会 神奈川県体育協会
4. 日時：令和2年11月14日（土）午前10時20分開会 男子団体の部5人制 女子個人の部  
11月29日（日） // 男子団体の部3人制
5. 場所：神奈川県立武道館
6. 参加資格
  - (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
  - (2) 選手は、神奈川県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により参加資格を得た者であること。
  - (3) 令和2年度（財）全日本柔道連盟に登録を完了した者であること。
  - (4) 平成14年4月2日以降に生まれた者で、令和2年4月以降当該校在学者であること。ただし、同一学年の出場は1回限りとし、2年生までとする。（定 時制は3年生までとする）
  - (5) チーム編成においては全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
  - (6) 転校後6ヶ月未満の者は出場できない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住などの理由よりやむを得ない場合は、神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部長の認可があれば、この限りではない。
  - (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を得ること。
  - (8) 初心者については、安全に対処できる技能を十分に身につけたうえで参加させること。
  - (9) 参加資格の特例
    - ①上記（1）（2）に定める生徒以外で当該競技実施（大会）要項により大会参加資格を満たすと判断され、神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
    - ②上記（4）のただし書きについては、学年区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、3回限りとする。
  - (10) 外国人留学生の参加については、卒業を目的とし入学していること。（短期留学は認めない）
  - (11) 県内大会団体合同チーム〔統廃合の対象となる学校を除く〕での参加については「大会共通事項」の「合同チームの参加について」を参照する。
  - (12) 参加者は、自己の身体を安全に対処できる技能を身につけた者であること。
  - (13) 「脳しんとう」に関する扱いは以下のとおりとする。
    - ①大会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、専門医（脳神経外科）の診察を受け、出場の許可を得ること。
    - ②大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
    - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
    - ④当該選手の指導者は大会事務局および県柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
  - (14) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
7. 競技種目
  - (1) 男子団体の部
    - ①男子団体の部 5人制
      - ア. チーム数に制限を設けない。なお、監督は重複してもよい。
      - イ. 男子は5人制と3人制の重複を認める。なお、合同チームでの5人制・3人制への重複はできない。  
※重複とは各学校の複数チーム出場を認めることであり、各選手が複数のチームに出場することは認められない。
      - ウ. チーム編成は監督1名・選手6名とする。なお、合同チーム参加は1チームまでとする。
      - エ. 合同チームで出場する場合は、3校までとし部員合計数が6名以内の学校とする。ただし、委員長の許可を得ればこの限りではない。
    - ②男子団体の部 3人制
      - ア. 各校2チームまで出場できる。なお、監督は重複してもよい。
      - イ. 5人制と3人制の重複を認める。  
※重複とは各学校の複数チーム出場を認めることであり、各選手が複数のチームに出場することは認められない。
      - ウ. **令和元年度**関東本大会（男子団体の部）に出場した学校については3人制の出場を認めない。ただし、部員が3人に満たない場合は3人制の出場を認める。なお、合同チームでの5人制・3人制への重複はできない。
      - エ. チーム編成は監督1名・選手4名とする。なお、合同チーム参加は1チームまでとする。
      - オ. 合同チームで出場する場合は、3校以内で部員2名以内の学校同士とする。ただし、委員長の許可を得ればこの限りではない。

- ③外国人留学生の出場について  
ア. チーム人員は1名以内とする。
- ④合同チーム編成委任について  
ア. 合同チーム編成が困難な学校は、常任委員会に編成を委任することができる。その際は申込書に必要事項を記入すること。

## (2) 女子個人の部

- ①下記の大会の個人の部に出場した選手は出場を認めない。  
ア. 昨年度と今年度の関東本大会・総体本大会・全日本ジュニア関東地区予選
- ②申し込み時には体重区分を設けず、申込書には申し込み時の体重を記入する。申し込みを集計した後、それを有段者の部と無段者の部に分け、それをまた体重を基準に最大3階級に分け、組み合わせを作成する。なお、大会当日に体重計量を行うが、組み合わせ後の体重区分の±2%までは出場を認める。

## 8. 試合規定:

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定によって行う。
- (2) 試合時間は3分とする。
- (3) オーダーは試合ごとの登録選手内で変更を認める。なお、オーダーは計量の結果で大将より体重の重い順とする。欠員を後詰めにした上であらためて体重順のオーダーに並べ替える。

## (4) 優勢勝ちの基準

- ①個人の部においては、「技あり」「僅差」(指導の差2)以上とする。優勢勝ちの基準に満たさない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。
- ②団体の部においては、「技あり」「僅差」(指導の差2)以上とする。チームの内容が同等の場合は代表戦を行う。対戦は「引き分け」の中から抽選する。なお、「引き分け」対戦がない場合は、すべての対戦の中から抽選で選出する。試合方式は規定試合時間を設けず、即、ゴールデンスコア方式の時間無制限で行い、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。
- ③団体試合の予選リーグにおいてチーム内の内容が同等の場合は代表戦を行う。また、順位決定については「大会共通事項」の「県内大会 団体試合 予選リーグ戦 競技方法の補足」を参照のこと。
- ④予選リーグにおいてチーム内の内容が同等の場合は代表戦を行う。また、順位決定について「大会参加共通事項」の県内大会「団体試合予選リーグ戦競技方法の補足」を参照のこと。

## 9. 競技方法は3~4チームを1組としての予選リーグを行い、勝ちチームによるトーナメント戦を行う。

## 10. 表彰

- (1) 優勝した各チームには、優勝旗、優勝杯を贈る。
- (2) 男子団体5人制の部・3人制の部、女子個人の部ともに第5位まで賞状を贈る。

## 11. 申込方法

- (1) 様式は所定の申し込み用紙による。
- (2) 期限は10月19日(月)から10月26日(月)までとする。なお、期限内に参加料の振り込みの完了と申込書が必着すること。
- (3) 参加料は次のとおりとする。
  - ①男子団体5人制の部：1チーム ¥6,000 (合同チーム：¥3,000)
  - ②男子団体3人制の部：1チーム ¥3,500 ( " : ¥1,750)
  - ③女子個人の部：1名¥700

※ P9 III 2. 参加料を参照すること。

## 12. その他

- (1) 計量規定、参加申込、参加料振込、団体合同チームでの参加等は大会参加共通事項を参照のこと。
- (2) **組み合わせについては常任委員会にて決定する。なお、今大会でのシード権は認めない。**
- (3) **公開抽選会は中止する。ただし、代わりに大会説明会と審判講習会を実施する。顧問が出席すること。**  
11月4日(水) 15時から、会場：東海大学付属相模高等学校
- (4) **無観客試合とする。**
- (5) **今大会をTV放映またはSNSなどで配信することがある。なお、肖像権等については「競技会案内」P15を参照のこと。**
- (6) 来場の際は公共の交通機関を利用する。県立武道館には、一般利用者向け駐車場がないため、自家用車での来館はしない。